

日本専門医機構への研修カリキュラム申請について(お知らせとお願い)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2022年度から日本専門医機構(以下「機構」といいます)が認定するサブスペシャルティ領域における専門医資格を取得するための研修が開始されました。専攻医を採用されている本学会の認定施設におかれては、脳神経内科領域に係る専門研修を開始されているものと存じます。

新制度においては、専門研修を担う研修施設は、研修施設が策定するカリキュラムについて、機構システムにあらかじめ登録して承認を得る必要があることについては、すでにお知らせをしております。

機構へのカリキュラム申請手続きについては、申請対象となる施設やカリキュラムに関する記載例の作成(下記、4特記事項参照)など、準備が整いましたので、下記に記載した事項をご確認のうえ、申請手続きを進めくださいますようお願いいたします。

10月31日(月)までに申請手続きをとられるようお願いいたします。

なお、機構から、今後申請方法の簡素化の可能性があるととして、ご案内開始の直前に案内手続きの延期を要請されましたが、これ以上の延期ができないことを理由にお断りしました。この要請のために案内開始が遅れましたこととお詫びしますとともに、今後手続きが簡素化する可能性があることもお伝えいたします。

この簡素化については10月5日以降に最終決定する予定と言われており、変更がある場合には逐次お伝えいたしますが、簡素化が不明な現状で申請された内容も有効であることは間違いのないことを併せてお知らせいたします。

記

1 本年の申請が必須の施設

機構システムでは、「基幹施設」に登録を求めています。脳神経内科専門医はカリキュラム制なので基幹施設は定義されていませんが、内科専門医での基幹施設を想像していただくとわかりやすいかと思います。すなわち「連携施設」のみに相当する場合には登録の必要はありません。

本年度登録対象となるのは、**2021年に内科専攻研修を開始し、2022年から脳神経内科専攻研修を連動研修で既に開始している専攻医**です。紛らわしいですが、2022年(ないし2021年)から内科の専攻研修を開始して、2023年4月から脳神経内科専攻研修開始予定の専攻医は今回の対象ではありません。従って、以下の要件を満たす専攻医がいる施設が今年の申請が必須となります。

申請必須の施設の要件：内科研修での基幹施設となっていて、2021年度に自施設の内科研修プログラムに入り、2022年から脳神経内科研修中(現在は連携施設でローテーション中の場合も含む)の専攻医がいる施設。

専攻医が、今年の4月に遡っての研修開始をこれから登録する際に、研修施設のカリキュラムを選択することになりますので、**施設が申請されていないと、専攻医が登録できなくなります。**

注(1) **教育施設・准教育施設**で、上記の必須要件を満たす場合に申請をお願いします。それ以外の場合には、必ずしも申請の必要はありませんが、いずれにしても、**継続的に脳神経内科専攻医を内科基幹施設として受け入れている施設はこの機会に申請されることをお勧めします。**

(2) **教育関連施設**では、上記の必須要件を満たしていても、通常指導医がいないと推測されますので申請ができず、連携施設のうちの教育施設・准教育施設から申請をしていただくことが必要となる可能性があります。**事情が複雑ですので、これに該当される場合には事務局にご一報下さい。**

(3) カリキュラムを申請して登録されると、専攻医がそれを見て選ぶこともできますから、施設の宣伝にもなります。その観点でのご活用もご検討ください。ただし、後述のように施設認定されると機構に認定料を払う必要が生じることにもご留意ください。

(4) 専攻医が内科プログラムでの連携施設としてのみ回ってくる施設については、カリキュラムを申請する必要はありません。ただし、連携を組んでいる基幹施設に、自施設が連携施設として記載されていることを確認してください。基幹施設の方では、専攻医がローテートで回る可能性がある連携施設を把握して、もれなくカリキュラムに記載するようにしてください。記載漏れがあっても、専攻医の研修歴が認められなくなることはありませんが、機構が発行する「連携施設認定証」の発行は受けられなくなります。

(5) 基幹・連携施設とも、**神経学会の認定施設（教育施設、准教育施設、教育関連施設、特別連携施設）**でない**と専攻医の研修歴とはならず、必要とされる研修期間もその施設の区分で決まることは従来と同じです。**

2 申請手続きについて

機構のHPに掲載されている機構システムにより、機構作成のマニュアルに沿って、必要事項を記載の上申請してください。

機構HP（サイドバー「研修プログラム」を参照願います。）

<https://jmsb.or.jp/subspecialty/#an07>

研修プログラムシステムアクセス先（サイドバー「研修プログラム」・「研修プログラムシステム」に記載があります。）

<https://sys.jmsb.or.jp/trainingProgram/html/login.html>

アクセスするにはユーザー登録が必要です(内科のプログラム総括責任者としてユーザー登録されている場合は、そのID・PWでログインできます)。

ユーザー登録は、このURLから表示されるログイン画面の最下段に記載がありますので、

そこからアクセスして登録してください。

マニュアル（サイドバー「研修プログラム」・「研修プログラムシステム」に「専門研修プログラムシステムマニュアルが記載されています（PDF）

<https://jmsb.or.jp/subspecialty/#an07>

なお、機構は8月27日に研修施設責任者を対象とする説明会を開催しました。この説明会について、YouTubeを利用して視聴ができます。下記申請フォームからお申し込みください。

申込フォーム（申し込みはこちらから）

<https://forms.gle/1SMd2Y184JTcLjHM8>

*視聴 URL が届かない場合下記のお問い合わせ先よりご連絡願います。

★お問い合わせ先（「サブスペシャリティ領域について」よりお問い合わせください）

<https://jmsb.or.jp/contact/>

また、本学会独自の説明会を9月28日（水）18:00～19:00に開催予定です。この説明会では、申請対象となる施設や申請フォームへの記載内容を中心に説明します。参加方法等については決まり次第ご案内いたします。

申請漏れを防ぐための施設アンケートを引き続いて施行予定です。そちらに答えていただくと、自施設において申請が必要かどうかの判断の助けになるかと思えます。必ず期限までにご回答をお願いいたします。

3 申請後の審査等について

次の手順を経て機構が承認します(修正等の調整過程は除きます。)

研修施設申請（2022年9月20日（火）から10月31日（月））

→ 学会による1次審査（2022年11月1日（火）から11月30日（水））

※上記スケジュールは、機構HPと異なっていますが、変更について機構とは調整済みです。

→ 機構による承認（2022年12月以降） → 承認通知書交付 → 認定料請求

→ 認定料納付(手続き完了) 認定料年額10,000円(税抜き)です。

4 モデルカリキュラム

モデルカリキュラムを作成しました。吹き出し部分が注釈となりますのでよく読んでご理解ください。カリキュラムの主要部分については、脳神経内科領域専門医整備基準やカリキュラム等に基づき、記載例を作成してあります。研修施設で独自に取り組まれていることなどアレンジして記載していただいても構いませんが、変えてはいけない部分もありますのでご注意ください。吹き出しが黄色背景となっている部分については、そのままコピーして下さい。上記2の研修プログラムシステムアクセス先にログインして、対応するフィールドに記載、ないしモデルカリキュラムからコピーしていただくことになります。

連携施設がある場合には（多くの施設では内科との連動研修を行うので、連携施設があると推測されます）、3シート目の「別紙2（必要に応じて）」の2. 専門研修施設群の構成にご記載くださ

い。

記載例URL → https://www.neurology-jp.org/files/images/20220920_01_01.xlsx

なお現在機構に質問・確認中の事項があり、その返答によっては、インストラクションを修正する可能性があります。その時にはまたお知らせいたします。

5 その他

本件に関する問い合わせは、次の問い合わせ先をお願いします。

(1) 機構に対する問い合わせ

機構 HP お問い合わせ「サブスペシャリティ領域」よりお願いいたします。

<https://jmsb.or.jp/contact/>

(2) 本学会への問い合わせ

学会事務局にメールにてお問い合わせください。

メールアドレスは、jsn-office@gol.com です。

(3) 日本専門医機構への申し入れと回答について

メールでお知らせしましたが、カリキュラム申請手続きの負担軽減や柔軟な運用について、内科系学会連名で申し入れを行っていましたが、このほど機構から回答がありました。

機構の回答は、担当学会の準備状況に応じて、柔軟に対応する、との内容でした。

本学会としては、研修施設による申請手続きのための準備を整えましたので、スケジュールを除き、機構が求めている手続きをとっていただくようお願いすることに致しました。ご理解いただきたくお願いいたします。

敬具

一般社団法人日本神経学会
専門医制度運営委員会委員長 園生雅弘
施設認定委員会委員長 北川一夫